

令和7年度新潟市ほたる里交流館指定管理事業計画書

- 施設名 新潟市ほたるの里交流館
- 団体名 株式会社 福井開発
- 代表者名 代表取締役 小川 明彦
- 所在地 新潟市西蒲区福井 4067 番地
- 設立年月日 平成4年10月1日
- 連絡先 電話 0256-72-4126 FAX 0256-72-1126

経営理念・経営方針

【経営理念】

全社員が公の施設の管理運営を担うことに誇りを持ち、働きがいのある職場づくりを通じて、社会貢献、地域振興を進め、市民に愛される施設を目指し、新潟市の発展に貢献する。

【経営方針】

- ① 安心、安全第一で快適な環境の提供。
- ② 法令の遵守し、情報公開に努め市民に信用される企業。
- ③ 職員の人材育成への取組み、きめ細かいサービスを提供。
- ④ 地域と一緒に地域に根ざした経営。

指定管理業務に係る事業計画（運営方針、集客計画、入館者及び使用料収入見込みなど）

【運営方針】

使用者が施設利用での安心と安全を第一に掲げて管理運営してまいります。

- ① 施設管理に当っては、施設使用者が平等かつ公平なる利用ができるよう配慮、工夫に心掛ける。
- ② 施設管理運営に当っては、施設の目的を最大限に発揮できるように努めるとともに、運営経費の削減が図れるように最大限努力する。
- ③ 施設使用者に対しては、常に安全管理、衛生管理に配慮するとともに、緊急時における体制作りを徹底する。

【集客計画】

新潟市ほたるの里交流館条例に「木の良さを市民に広め、木材の需要拡大、林業の振興に寄与すること」が目的となっております。1人でも多くの人々に、この施設を知っていただき、入館者増に結び付くよう努力する。

- ① 「じよんのび館」入館者に対し、交流館見学入館者増を図る。
「じよんのび館」ロビーでの林業PR・DVDの放映を実施する。
「じよんのび館」各所に交流館PR紙を掲示する。

「交流館研修室」に林業や自然をテーマにした写真、絵等の作品を展示する。

② 交流館研修室の利用促進

森林ボランティア団体の活動拠点として、会合等の支援。

Wi-Fi の設備を完備し、一般会議や研修会の積極的な誘致。

子どもからお年寄りまで楽しめるビンゴ大会の実施。

運動が苦手な方でも気軽に楽しめる健康教室を実施。

【7年度 入館者数見込】	2,700 人	内見学入館者数	1,320 人
		施設使用者数	1,380 人
【7年度使用料収入見込】	153,000 円	月 12,750 円目標	

稼働率アップへの取組み

ビンゴ大会、健康教室を定期開催することで、地域のご年配の方のコミュニケーションの場として繰り返しご利用いただき利用率増を図ります。

健康教室を定期開催することで、利用者の地域の方の健康促進の貢献に努めます。

稼働率向上のため計画した自主事業を単発に終わらせることなく継続的に行い、施設来館者を増やしていきます。

- ・ビンゴ大会
- ・健康教室

要望・苦情への対応

「ご利用者の声」を収集する方法として、フロント・カウンターにアンケートボックスを置きアンケートに記入する方法を取っております。しかし、見学入館者や施設使用入館者の方々から容易に記入していただかず、コミュニケーションを取る意味で積極的に「お声がけ」をして記入していただいております。大切なお客様の声は、分析行動(問題認識・原因調査・解決策を立て実施・結果評価)をして解決、改善しております。

よって、「ご利用者の声」の収集が継続的に管理運営の改善につながることを利用者ニーズに応えることと考えております。

発生する苦情に対して、迅速かつ丁寧に誠心誠意対応することを接客の基本とします。さらに、発生した苦情等はスタッフ全員で情報を共有し、クレームゼロに向けたスタッフ研修を行い再発防止に努めます。

管理経費削減の具体的な取り組み

管理経費で大きなウェイトを占めるのが、人件費となります。効率的、効果的な職員配置（職員のマルチジョブ化）による経費削減に努めます。

次は水道光熱費となります。必要ない箇所では電気を消すなど、担当者には常に節約意識の継続と無駄の排除を徹底化しております。

具体的実践として、週単位で参考メーター等による電気、ガスの使用量をチェックしております。

保守点検料は、毎年見積を取り直したうえで最適な契約内容となるよう留意しております。

自主事業を実施する場合の事業計画（集客計画、入館者数及び収入見込み）

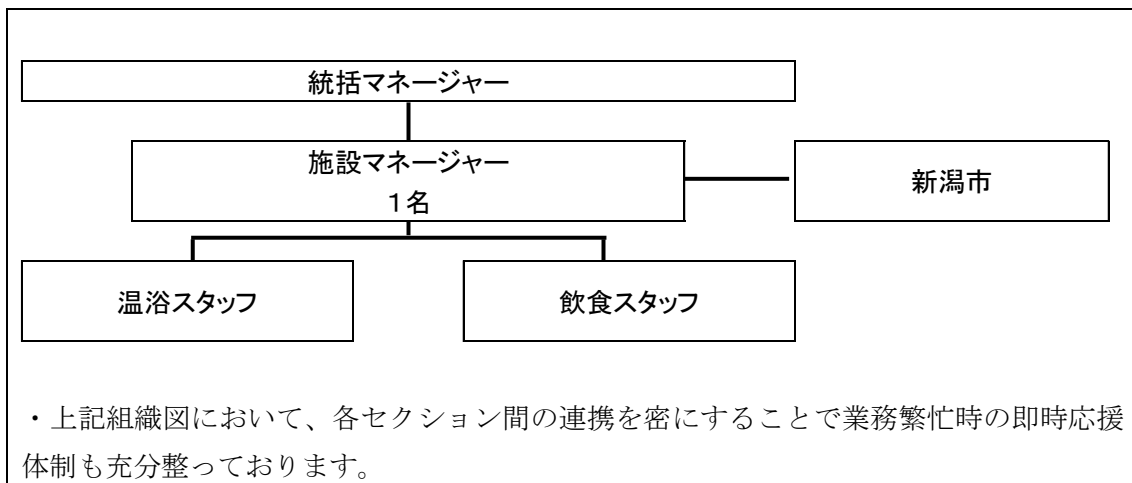
ほたるの里交流館に来てもらえる「きっかけとなるイベント」を開催することで、交流館を多くの方に知っていただくことを目的として計画し、開催していきます。

- ・健康教室 年 6 回×5 人＝30 人
- ・ジョニー江口のピンコ大会 年 12 回×30 人＝360 人

合計 390 人

《自主事業収入見込み》 15,100 円

組織・人員体制



安全確保及び緊急時の対策

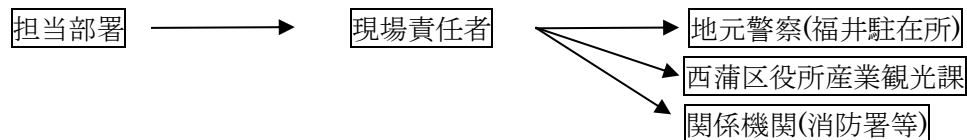
施設管理、運営に当り防犯対策、防火体制は地元警察(福井駐在所)はもとより、西蒲消防署、警備会社、西蒲区役所と連携を密にしており、下記の連絡系統図をもとに対策に努めるとともに、施設内には人命救助用に AED を設置、車イスや担架も常設してありま

す。

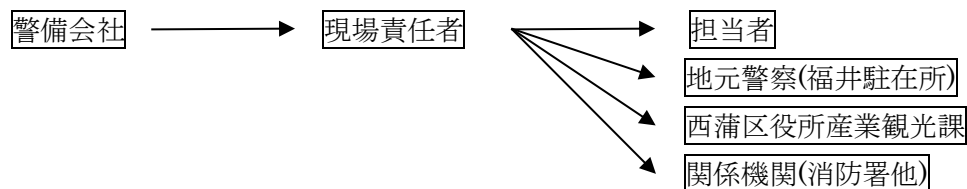
利用者及び近隣住民の安全確保のため下記の取り組みを行います。

- ① 安全確保のために日常点検の実施
- ② 緊急時対応マニュアルの整備、社員への周知徹底
- ③ 消防用設備の適切な維持管理
- ④ 災害発生時に迅速に対応できる体制確立（じょんのび館等によるバックアップ）

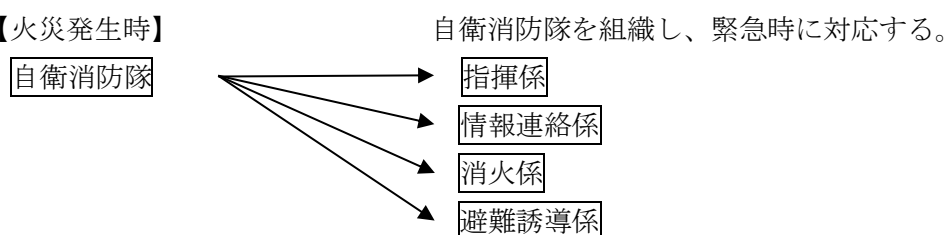
【営業時間内】



【営業時間外】



【火災発生時】



自衛消防隊を組織し、緊急時に対応する。

- ・火災時に備え法定通り年 2 回の消防訓練を実施しております。

個人情報の取り扱い・コンプライアンス

当社は、保有する個人情報 5,000 件を超える「個人情報取扱事業者」には該当しません。しかし、施設使用申請書で取り扱う使用者の個人情報を適切に管理するため、個人情報の管理責任者として総責任者を統括マネジャーに置き、現場の責任者としてマネジャーを副責任者として業務責任の所在を明確にしております。

個人情報保護の取り扱い・コンプライアンス

品質マネジメントシステムに基づいた法令順守

- ① 個人情報の保護方針

保護方針は新潟市個人情報保護条例を準用して適正に対応しております。従業員に対する個人情報保護教育を行い、新潟市はたらの里交流館の管理に関する協定書はもとより、各種の法令を順守するとともに守秘義務を徹底しております。さらに、従業員に個人情報の基本を教育し、関係書類などの漏えい防止に努めております。

② 個人情報保護のために講じる措置

利用者が施設利用にあたり、記入した全ての書類及び電話受付等で知り得た全ての情報は目的外での使用は原則禁止し、個人情報は厳格に管理し、漏えい、改ざん、滅失及び棄損防止の徹底を図っております。

③ 個人情報保護措置の検証

営業上、利用者管理に関し、個人情報は必要とせず、に個人情報保護措置を必要とする事象として、施設使用申請書に記入及びご利用者アンケートに記載されている個人名等の個人情報があります。書類管理としてカギの掛かる書庫に厳重に管理しております。

コンプライアンス体制

公の施設の維持管理運営を任されている当社従業員はより強い順法精神を持って仕事に当たり、模範になれるよう努力しております。現体制では、各部門に管理責任者を置き、法令や倫理に遵守するガイドラインに基づき、教育、啓蒙を行っております。

従業員研修計画

施設使用者のサービス向上のために、定期的に消防訓練や接客接遇及び現地視察を実施し、従業員の資質向上を図ると共にサービス体制の充実、施設の安全・衛生管理を図ります。

このため以下の取り組みを行います。

- ① 公共事業従事者研修（関係法令・契約書を基にした研修）
- ② 接客待遇研修（挨拶・言葉づかい・話の仕方）
- ③ 利用者定着研修（接客などの品質確保・向上）
- ④ 緊急救命法研修（AED 操作研修）

その他

施設の管理運営に当たっては、関係事業者等の連絡、連携を密にし、施設運営にあたりとともに、使用者の平等利用及び安全性の確保を図りながら、管理経費等の縮減を図る。